

Press Release(R1/12/5)

岐阜大学講義「景観デザイン」(工学部社会基盤工学科) 最終課題 公開発表会を開催します

12月12日(木)10時30分～、柳ヶ瀬のサロン・ド・マルイチ2階において、岐阜市の市街地を題材に、学生の景観デザイン提案の公開発表会を実施します。今年は、金公園のリノベーションを課題として、岐阜大学工学部社会基盤工学科の学生11名が発表します。

本学工学部社会基盤工学科の2年生が、岐阜大学の講義「景観デザイン」(担当教員:出村 嘉史(でむら よしふみ) 准教授)を受講し、「景観とはなにか」「景観の構造」「人の集まる空間のデザイン」「水と緑のデザイン」「色彩計画」「都市の魅力と問題」などについて学習し、最終課題として、「岐阜市にとって重要な位置付けにある金公園とその周辺を対象に、これからの岐阜にとってよりよいエリアへ再編する」ために必要な場所の空間デザインを考え、ポスター(A1版)と模型表現によって発表します。当日の取材をよろしくお願いします。

記

日時 12月12日(木)10:30～12:00
会場 サロン・ド・マルイチ 2F (岐阜市日ノ出町)
対象 一般(自由公開)
発表者 岐阜大学工学部社会基盤工学科 学生11名(2年生)

- 学生は、基本的に3人1組のグループ演習として取り組んでいます。
- 学生は、10月初めより、発表に向けた取り組みをはじめています。11月14日には、全受講者が実際に現地の実見調査を行い、実況把握やヒアリング調査を通して、デザインに取りくむ際の視点、課題探しを行いました。
- 発表をまちに対して公開するのは、学生にとって、リアリティと責任を感じつつ提案を構想することができるという教育効果と、それらの提案をきっかけにして多くの人々がまちの将来について関心を寄せることを期待しています。

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学工学部社会基盤工学科 准教授 出村 嘉史
TEL : 058-293-2446
E-mail : demu@gifu-u.ac.jp